



## 被害状況と痕跡

クマはカキ、クリ、ナシ、ブドウ、リンゴなどの果樹を食害することがあります。牛舎のエサや養蜂巣箱、ニワトリ、倉庫に保管してある食べ物なども被害にあうことがあります。

また、クマ柵やツメ跡などの痕跡を残します。

### 被害状況



リンゴ食害



ニワトリ食害



倉庫侵入

### 痕跡



クリの木にできたクマ柵



フン



ツメ跡



前足



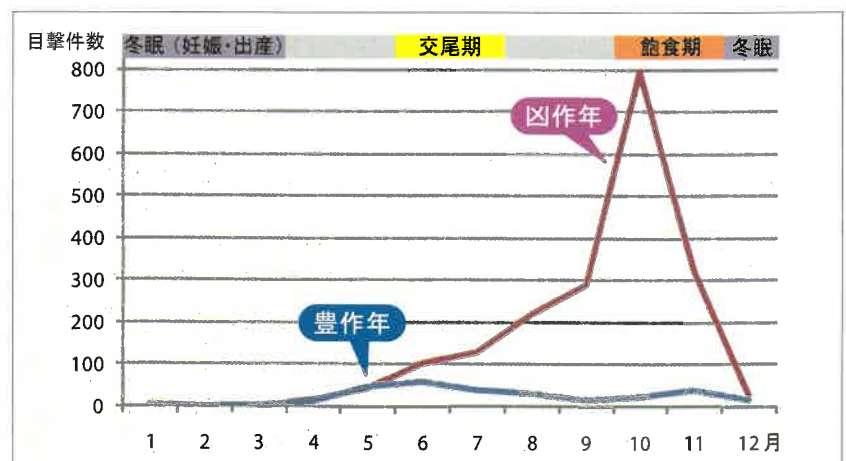
後足

成獣オスの足跡



## ツキノワグマの生活史と出沒の関係

ツキノワグマの生活史				
月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12			
冬眠期	不活動期	交尾期	飽食期	冬眠期
オス	メスを求めて行動圏を広げる			
妊娠メス	↑ 出産(1~2頭) 授乳	子連れ期	出産したメスは発情しない	子どもと同一の冬眠穴に入る
子連れメス	子連れ期			↑ 妊娠



### 生活史

クマの行動が活発になるのは、初夏の交尾期と秋の飽食期です。交尾期は特にオスが行動圏を広げるため、通常クマが出沒しないような地域にまで移動することがあります。

飽食期は、冬眠に備え食欲が増すため、食べ物が大量に得られる場所に長時間滞在し食べ続けます。

### 山の実りと出沒

クマが好むドングリや果実が凶作の年には、人里のカキやゴミなどに誘引され、秋に大量に出沒することがあります。

豊作の年には、人里での目撃はほとんどなくなります。ただし、初夏は交尾期のため、行動範囲が広がり目撃が増える傾向にあります。



## 被害対策

### ばったり出会わないために

#### ① 山林へ行くときは音の出るものを携行しましょう

山や森林付近の農地に出かけるとき、あるいは夜間に外出するときは、鈴やラジオなど音の出るものを身に付けましょう。とくに雨の日や川沿いは、人間の臭いや物音がクマに伝わりにくいので、大きな音を出しましょう。



#### ② 人里でも夕方から朝までの外出は注意しましょう

クマは夕方から早朝の間、人里に出沒する可能性が高くなります。この時間帯は、カキやクリの木の近くなど、クマがいそうな所に近づかないでください。

### 悪いクマにさせないために

集落への出沒や、農作物被害を放っておくと、クマの行動がエスカレートして、悪いクマになっていきます。

#### ① 誘引物の除去

##### ・ゴミを野外に置かないようにしましょう

ゴミ(とくに生ゴミ入りのもの)はクマを誘引します。屋外に置かないようにしましょう。また、田畑への残飯まき、収穫しない野菜の放置も厳禁です。

##### ・食料は、屋内に収納しましょう

クマは臭いにとても敏感です。屋外や侵入できる納屋などにある食料に気づいて、食べにくる恐れがあります。果物、穀物、ペットフードなどは要注意です。

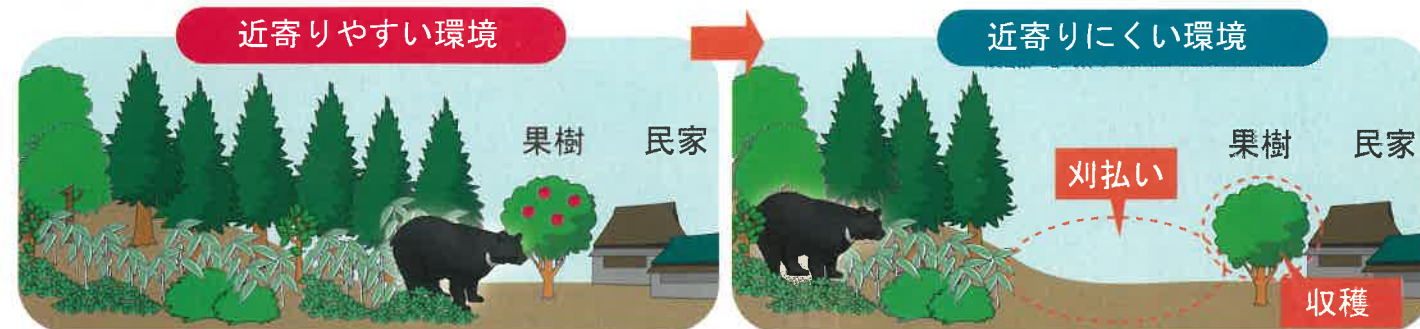
##### ・果実は早めに収穫しましょう

クマの好物であるカキやクリは早めに収穫しましょう。食べる予定のないものは処分しましょう。



#### ② 環境整備

住居や通路周辺にクマがひそみやすいヤブや草むらがある場合は、刈り取って見通しをよくしましょう。



#### ③ 防護 トタン巻き

庭先や集落内の果樹に執着する場合、まずは不要木をできるだけ除去しましょう。除去できない木には、幹にトタンを巻きつけ、クマが登れないように防護します。



#### 電気柵

果樹や養蜂巣箱に執着した場合は、電気柵が効果的です。クマの進入ルートがわかっている場合は、周辺のヤブを刈り払った上で、電気柵により遮断します。

